

2008年4月17日

会員各位

科学基礎論学会
奨励賞選考委員会
委員長 丹治 信春

周知の通り、本学会では、若手研究者育成のため、優れた論文を対象にした学会賞を設けてきましたが、2007年度より、その主旨がより明瞭であるような名称にあらため、「奨励賞」とすることになりました。つきましては、2007年度奨励賞の会員による推薦を下記の要領で行うことと致します。推薦は自薦・他薦を問いませんが、2008年8月30日(月)必着で、事務局に郵送もしくはメールで御提出ください。

[推薦要綱]

- (1) 投稿受付時点で45歳未満の会員を対象とする。
- (2) 『科学基礎論研究』、*Annals* いずれかの機関誌に2007年度に発表された論文を対象にする。(次頁「奨励賞選考対象者一覧」参照)
- (3) 単年度を範囲に1ないし2名を選出する。
- (4) 奨励賞選考委員は理事会で選ぶ。
- (5) 学会の秋の研究例会で受賞式を行ない、副賞として10万円を授与する。(2名の場合は折半とする。)

[推薦要領]

- (1) 所定の書式(HPからダウンロードできます)を用い、郵送もしくはメールで事務局へ2008年8月30日(月)までに送付する。
- (2) 自薦、他薦のいずれでもよい。
- (3) 記名で、会員一人あたり2名まで推薦できる。
- (4) 推薦にあたり400字以内でその理由をつける。

[選考結果]

選考委員会で選考し、理事会で承認する。結果は本人に通知し、学会HPで公表する。表彰式は秋の研究例会で行なう。

[送付先]

以上

〒108-0023
東京都港区芝浦 2-14-13 MCK ビル 2F
笹氣出版印刷株式会社内
科学基礎論学会事務局

TEL 03-3455-4439 FAX 03-3798-1372
E-mail kisoron@sasappa.co.jp

2007 年度 奨励賞選考対象者一覧

掲載雑誌	氏名	所属	論文名
『科学基礎論研究』 108 号	横山幹子	筑波大学図書館 情報メディア研究科	合理的受容可能性と真理
『科学基礎論研究』 108 号	植原亮	東京大学大学院 日本学術振興会特別研究員	知識を世界に位置づける —自然種としての知識が いかにして多様性を示しうるのか
『科学基礎論研究』 108 号	前田高弘	大阪大学大学院・人間科学	時間を跨ぐ関係としての知覚経験
『科学基礎論研究』 109 号	中村隆文	千葉大学文学部	ヒューム主義的スーパーヴィーニエンスの 問題は解消されるべきか？
『科学基礎論研究』 109 号	伊勢田哲治	名古屋大学情報科学研究科	工学的知識の独自性はどこにあるのか —ヴィンセンティの検討を通して
『科学基礎論研究』 109 号	植原亮	東京大学大学院 日本学術振興会特別研究員	脳神経科学を用いた知的能力の増強は 自己を破壊するか
ANNALS Vol.16No.1&2	塩野直之	福井県立大学 学術教養センター	Weakness of Will and Time Preference
ANNALS Vol.16No.1&2	森元良太	慶應義塾大学	Information Theory and Natural Selection
ANNALS Vol.16No.1&2	松本俊吉	東海大学	Analyzing 'Evolutionary Functional Analysis' In Evolutionary Psychology

----- ✂ -----
科学基礎論学会

2007 年度奨励賞の推薦について (提出は2008 年 8 月 30 日(月)必着。)

推薦者 _____

推薦する者の氏名: _____

推薦理由(400 字以内): _____